

愛知の土地改良

新年のご挨拶	2	研修会	14
表彰	6	広報活動	18
要請活動	7	お知らせ	23
事業情報	11		



vol. **215**

令和8年1月号



「虹も出た」(豊橋市) 撮影者:水谷 清

第24回あいちの農業・農村フォトコンテスト 水土里フォト大賞作品



みどり
水土里ネット
新農村創造

みどり
水土里ネット愛知

愛知県土地改良事業団体連合会

〒451-0052 名古屋市西区栄生一丁目18番25号

<https://www.aichi-doren.or.jp>

E-mail:midori-net@aichi-doren.or.jp



新年を迎えて

愛知県土地改良事業団体連合会
会長 中野 治美



あけましておめでとうございます。

会員の皆様方には、新年を迎え益々ご健勝、ご活躍のこととお慶び申し上げます。

平素は、本会の運営及び農業農村整備事業の推進につきまして、格別のご支援、ご協力を賜り深く感謝いたします。

昨年は初の女性首相の誕生、日米の関税交渉、大阪・関西万博の開催、コメ価格の高騰や社会問題となったクマによる被害の増加等がありました。

自然災害につきましても、複数の大きな地震や豪雨が発生しました。被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

また、食料・農業・農村基本法の改正を受けて、昨年4月、土地改良関係者の意見が反映された土地改良法の改正が行われました。この改正により、農業者の申請によらず、国や県の発意による基幹施設の更新が可能となり、さらに、土地改良区や市町村等の関係者が連携して、連携管理保全計画(水土里ビジョン)を策定し、地域の将来を見据えた土地改良施設の保全とその取組を確実に実施する土地改良区の体制強化を図る仕組みが創設されました。

そうした中、国の土地改良関係予算については、令和8年度当初予算案では、前年度を上回る4,504億円が計上され、補正予算と合わせて総額6,942億円が確保されております。具体的な内容としては、農地の大区画化、水田の汎用化・畑地化、農業水利施設の計画的な更新・長寿命化、省エネ化・再エネ利用、省力化等による適切な保全管理、ため池の防災・減災対策、田んぼガムの取り組み拡大等流域治水対策、農道、集落排水施設の整備・保全を推進することとしております。

本会としても愛知県の農業・農村が抱える喫緊の課題である農業インフラの老朽化対策、防災・減災・国土強靱化、農業生産基盤の強化のため、引き続き農業農村整備事業関連予算の安定的確保に努める必要があります。そのためにも、当初予算の安定的な確保は不可欠です。

本会ではあらゆる機会に愛知県、関係県議会議員、農林水産省、進藤金日子参議院議員を始めとする関係国会議員に対して強力に要請活動を展開し予算確保に全力で取り組んで参る所存ですので、皆様方の一層のご支援とご協力をお願いします。

水土里ネット愛知は、会員の皆様方より幅広いご意見をいただき、新たな時代にふさわしい水土里ネットの創造に向けて、今後もしっかりと対応して行きたいと考えております。今後も「闘う土地改良」のスローガンの下、業務運営に一層の鋭意努力をして参りますのでより一層のご支援、ご協力を賜りますようお願いを申し上げます。最後に土地改良事業の限りなき発展と皆様の益々のご繁栄を心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

新春を迎えて

愛知県知事

大村 秀章



あけましておめでとうございます。

新たな年が、県民の皆様にとりまして素晴らしい1年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

昨年7月、ついに、世界トップレベルのグローバルアリーナ「IGアリーナ」がグランドオープンを迎えました。

また、昨年は、「ジブリパーク」が開園から3年を、「STATION Ai」がグランドオープンから1周年を迎えたほか、テクノロジーの祭典「TechGALA Japan 2025」、愛知万博20周年記念事業「愛・地球博20祭」、3年に1度の国際芸術祭「あいち2025」を開催するなど、国内外から多くの方が愛知を訪れ、賑わいと笑顔に溢れた1年となりました。

「ジブリパーク」や「STATION Ai」を始め、これまで積み上げてきた愛知の力と、「IGアリーナ」など新たに加わった力を原動力として、世界と大交流しながらダイバーシティを生み出し、愛知の更なる飛躍に繋げてまいります。

さて、今年は、9月にアジア最大の平和とスポーツの祭典「第20回アジア競技大会」が、10月にはアジア最大の障がい者の国際総合スポーツ大会「第5回アジアパラ競技大会」が、いよいよ開幕を迎えます。

両大会は、アジア各国・地域との交流を深めるとともに、愛知・名古屋の魅力を世界に発信する絶好の機会でもあります。

県民の皆様と一緒に、両大会を大いに盛り上げ、愛知を更に元気にしてまいりたいと思いますので、一層のご支援をよろしくお願い申し上げます。

2027年の「アジア開発銀行年次総会」、2028年の「技能五輪国際大会」など、今後も、愛知を元気にし、日本を元気にするビッグプロジェクトが目白押しです。

目まぐるしく変化する世界の情勢に的確に対応しながら、これらのプロジェクトを着実に進め、日本の成長を牽引してまいります。

もちろん、こうした取組とあわせ、喫緊の課題である人口減少・少子化対策を始め、社会基盤整備や農林水産業の振興、教育、女性の活躍、医療・福祉、感染症対策、環境、雇用、多文化共生、防災・交通安全、東三河地域の振興など、県民の皆様のご生活と社会福祉の向上、次代の愛知を担う「人づくり」にも全力を注いでまいります。

引き続き、「日本一元気なあいち」、県民の皆様すべてが豊かさを実感できる「日本一住みやすい愛知」、すべての人が輝き、未来へ輝く「進化する愛知」の実現を目指し、全力で取り組んでまいりますので、一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

新年にあたって

全国水土里ネット会長会議顧問

参議院議員 進藤 金日子



あけましておめでとうございます。愛知県土地改良事業団体連合会の会員並びに関係の皆様には、私の政治活動にご理解とご支援を頂戴し、厚く感謝申し上げます。本年も現場主義、地域主義に徹し、農業・農村の振興に努めてまいりますので、よろしくご指導をお願い致します。

さて、去年は、農政、国土強靱化、我が国経済にとって節目の年であったと考えています。土地改良法改正、食料・農業・農村基本計画の策定、農業構造転換集中対策の開始、新たな土地改良長期計画と第一次国土強靱化実施中期計画も策定されました。10月に高市早苗内閣が発足し、日本経済強靱化計画（通称サナエノミクス）が提唱され、我が国の経済転換の期待も広がっています。

3月の土地改良法の改正では、農業生産の基盤の整備に加えて保全に必要な施策を講ずることが明定され、土地改良区が市町村等と連携していわゆる水土里ビジョンを作成し、土地改良施設及び末端施設の保全を行う仕組みを位置付けました。

4月に策定された食料・農業・農村基本計画では、令和7年度からの5年間で農業の構造転換を集中的に進めることとし、「農地・水の確保」、「地域計画に基づく担い手への農地集積・集約化」、「農地の大区画化」等に関し具体策を位置付け、また、「食料システム全体で合理的な費用を考慮した価格形成を推進」することも位置付けました。自民党は、基本計画の実施に関して別枠予算の確保を求め、私はこれらの事業規模の積算を託され、実務的に2.5兆円の積み上げを行いました。

9月には新たな土地改良長期計画が策定され、「基盤整備による生産コストの低減」、「農業水利施設の戦略的な保管理による持続的な機能確保」、「激甚化・頻発化する災害に対応した防災・減災対策」等に関する5つの目標を設定しました。

さらに、6月には第一次国土強靱化実施中期計画が策定され、令和8年度から令和12年度に推進が特に必要となる施策目標を設定、5年間の事業規模を「おおむね20兆円強程度」を目途としました。土地改良では、防災重点農業用ため池の防災・減災対策、農業水利施設等の老朽化・耐震化対策などを進めることとしています。

11月には、総合経済対策が閣議決定され、食料安全保障の確立、防災・減災・国土強靱化等を推進していく上で必要な対策と予算が盛り込まれ、土地改良関係では2,439億円が措置されました。

これらの政策を進めるためには土地改良の推進が重要です。特に農業構造転換集中対策期間の5年間で別枠予算も確保して強力に進めていく必要があります。令和8年度に執行可能な土地改良予算は、令和7年度補正2,439億円と令和8年度概算決定4,504億円の合計6,942億円（昨年比442億円増）となっています。予算のスムーズな執行に対する貴連合会による技術支援とご協力をお願いいたします。私は本年も土地改良の推進のため努力してまいりますので、皆様方からの益々のご指導、ご支援をお願いし、新年のご挨拶と致します。

ご挨拶

愛知県農林基盤局長
下平 達也



あけましておめでとうございます。

愛知県土地改良事業団体連合会におかれましては、中野会長のもと、本県の農業農村整備事業の推進に格別な御尽力を賜っておりますことに厚く御礼申し上げます。

農業・農村をとりまく環境は、気候変動による異常気象の頻発化や農業者の急速な減少、高齢化に加え、加速化する農業水利施設の老朽化など、年々厳しさを増しております。

こうした中、国においては、昨年4月に新たな食料・農業・農村基本計画を策定し、農業の構造転換を集中的に推し進めるべく舵が切られております。併せて、土地改良法の改正、及び土地改良長期計画の策定が行われ、これら一連の法整備や各種計画の策定により、農業生産基盤の整備及び保全を的確に実施するための施策が整えられました。

施策を実行するための予算面では、「経済財政運営と改革の基本方針2025」において、改正食料・農業・農村基本法の初動5年間で農業構造転換集中対策期間とし、生産コストの徹底的な低減に向けた農地の大区画化等を、集中的・計画的に推進するための別枠予算の確保が明記されました。また、昨年6月に策定された第1次国土強靱化実施中期計画においては、推進が特に必要な施策として、防災重点ため池や農村地域の総合的な防災・減災対策が挙げられており、5年間でおおむね20兆円強との事業規模が示されております。

これらを基にして、来年度の国の農業農村整備関係予算については、当初予算と補正予算を合わせ、今年度の6,500億円を大きく上回る総額6,942億円が見込まれております。

先月発生しました青森県東方沖の地震など、震度6以上の地震が毎年のように発生している中で、南海トラフ地震の発生が危惧されている本県においては、農地だけでなく県民のいのちや暮らしを守る排水機場やため池、海岸施設などの地震対策は早急に進めていかなければなりません。併せて、激甚化・頻発化する気象災害への対策も必要であり、県民生活にも大きな影響を及ぼす管水路の漏水事故など、農業水利施設の老朽化対策も待った無しの状況です。

県としましては、地域のニーズに応じた事業の推進に必要な予算を最大限確保し、農業生産基盤の整備・保全や地域の防災・減災対策などを着実に推進してまいります。加えて、脱炭素社会の実現に資する取り組みとして本県の農業農村整備事業で進めている、用排水機場建屋の木造・木質化につきましては、昨年、地盤沈下対策事業 木曽川用水2期地区において、木造の揚水機場建屋を2か所竣工しており、今後も2023年度に策定した「用排水機場建屋の木造・木質化基本方針」に基づく取り組みを進めてまいりますので、御理解、御協力をお願いいたします。

貴連合会におかれましては、本県農業農村整備の推進に一層の御尽力をいただくとともに、これまで培われた知識や技術力を駆使して、多面的機能を有する農地や農業用水利施設等の保全管理、土地改良区の新たな体制づくりに御支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

最後になりましたが、貴連合会の益々の御発展と会員各位の御健勝と御多幸をお祈り申し上げまして、年頭の御挨拶とさせていただきます。

秋の叙勲

政府は令和7年11月3日付で令和7年秋の叙勲の受章者を発表しました。

土地改良関係者からは、澤田丸四郎元本会理事・元常滑土地改良区参与が受章の栄に浴されました。

このたびの栄えある受章を心からお慶び申し上げ、益々ご壮健でご活躍されますようお祈りいたします。



澤田丸四郎様

元本会理事・元常滑土地改良区参与

第77回 愛知県条例表彰

愛知県では、愛知県表彰条例(平成15年条例第6号)に基づき、地方自治、産業、教育文化などの各分野において功績が顕著な個人(団体)に対し、毎年愛知県知事より表彰が行われております。

このたび、多年にわたり土地改良事業の推進に尽力され、地域の農業基盤の整備や農業の振興に貢献された方々に対し以下の表彰が行われました。

これまでの功績に感謝を申し上げますとともに、心よりお祝い申し上げます。

地方自治功労者表彰	神谷明彦様(元東浦町長)
	竹中良則様(元刈谷市長)
	糺山芳輝様(元武豊町長)
産業功労者表彰	村上雅之様(飛島土地改良区理事長)

農業農村整備の集い

— 農を守り、地方を創る予算の確保に向けて —

11月26日(水)、東京都千代田区の砂防会館別館シェーンバッハ・サボーで農業農村整備の集いが開催された。

全国水土里ネット主催のこの集いは、全国の土地改良関係者が一堂に会し、現下の情勢を共有した上で、農業農村整備の一層の推進を図っていくことを目的に春・秋と年2回開催されている。本県からは、中野治美会長を始め、本会会員、愛知県農林基盤局より31名が参加した。

主催者挨拶として、二階俊博全国水土里ネット会長は、「食料安全保障を確保するためには、農業の構造転換を集中的に進めていくことが重要である。既存の土地改良予算に加え、農地の大区画や水利施設の整備、中山間地域対策を進めるための別枠予算を確実に確保するため、我々土地改良団体もしっかりと取り組んでいかななくてはなりません。私どものスローガンである「闘う土地改良」のもと、関係国会議員の皆さんのお力添えをいただき、一丸となって予算を勝ち取っていく闘いを続けてまいらなくてはなりません。以上をお願いし、私の挨拶とします。」と告げられた。

その後、来賓の鈴木憲和農林水産大臣をはじめ、城内実日本成長戦略担当大臣、森山裕自由民主党食料安全保障強化本部長、宮下一郎自由民主党総合農林政策調査会長、進藤金日子全国水土里ネット会長会議顧問から祝辞が述べられ、予算確保や土地改良事業の更なる推進への尽力を誓った。

最後に、来年全国土地改良大会の開催県である水土里ネット奈良が登壇され、令和8年度予算の確保を目指し、一致団結することを誓い“ガンバロウ三唱”で閉会した。



二階全国水土里ネット会長による主催者挨拶



鈴木農林水産大臣による祝辞



進藤会長会議顧問による祝辞

令和8年度 農業農村整備事業に関する重点要請活動を実施

《東海農政局》

11月18日(火)、中野治美会長より、令和8年度農業農村整備事業に関する22項目の重点要請を、秋葉一彦東海農政局長を始め、局幹部職員に対し実施した。



秋葉東海農政局長に要請書を手交



東海農政局幹部への要請

《農林水産省及び関係国会議員》

11月26日(水)、中野治美会長より、令和8年度農業農村整備事業に関する22項目の重点要請を、松本平農村振興局長を始め幹部職員に対し実施した。午後からは、同内容の重点要請を、進藤金日子参議院議員、藤川政人参議院議員を始め愛知県選出の衆・参国会議員に対し実施した。



松本農村振興局長に要請書を手交



進藤参議院議員に要請書を手交

《自由民主党愛知県議員団土地改良議員連盟》

11月27日(木)、中根俊樹専務理事より、令和8年度農業農村整備事業に関する24項目の重点要請を、自由民主党愛知県議員団土地改良議員連盟に要請書を手交。

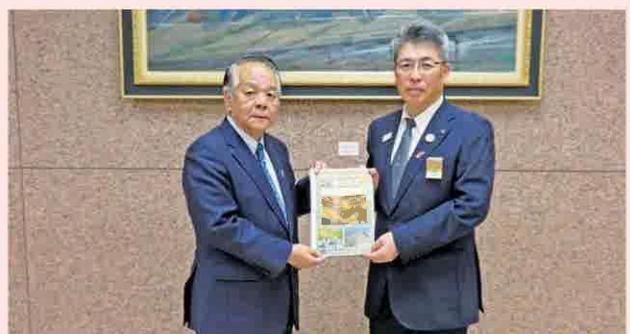


自由民主党愛知県議員団土地改良議員連盟に要請書を手交

《愛知県知事》

その後、中野会長より同内容の重点要請を、大村秀章愛知県知事を始め県執行部に対し実施した。

要請書並びに重点要請項目の内容は次のとおり。



下平農林基盤局長に要請書を手交

重点要請書

愛知県の農業農村整備事業の推進につきましては、日頃から格別のご理解とご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

令和8年度の概算要求におきまして、農業農村整備関連予算について、前年度比118.3%の5,281億円を要望していた
だき、重ねて御礼申し上げます。

しかしながら、農業用インフラの老朽化対策、防災・減災・国土強靱化への対応、農業生産基盤の強化への地域の要望は
非常に高く、事業を安定的、計画的に進めるためには、農業農村整備事業の当初予算の安定的な確保が不可欠であります。

本県は、古くから木曾川・矢作川・豊川の三大水系を中心として、先人の努力により数多くの農業用水施設が造成され、
戦後は愛知用水を始め、各水系で大規模水利事業を展開してきたことにより、農業産出額で全国8位、中部地方最大の農
業県であり、これを支えていくためにも、計画的かつ迅速に農業生産基盤の整備を進めていかなければなりません。

これらの大規模な水利施設を、更に機能的かつ高度に活用し、後世に引き継いでいくためにも、国営事業・水資源機構営
事業を着実に推進していただくと共に、その他の施設についても、適切な時期に次代を見据えた更新や機能保全対策を実
施していく必要があります。

特に、本県の農業を飛躍的に発展させた水資源機構施設はこれまでも整備が進められてきましたが、このうち、木曾川
用水施設は長年に亘る地盤沈下等による機能低下が生じていることから、着実な事業実施をする必要があります。

また、愛知用水及び豊川用水施設は、農業用水の安定供給のため、老朽化対策のみならず耐震対策を計画的に進める必
要があります。

また、近年の自然災害の発生や大規模地震発生の将来予測を踏まえ、安定した農業経営、農村の安全・安心の暮らしの実
現のため、防災減災に資する農業水利施設の地震・豪雨対策の計画的な整備が求められています。

今回、こうした課題や地域の要望に応えるべく、24項目の重点要請を行いたいと思います。愛知県土地改良事業団体連
合会は、今後も国・愛知県と連携して効率的・効果的な農業農村整備事業を展開していく所存でありますので、格別のご高
配をお願いいたします。

重点要請24項目

I 農業の成長産業化、国土強靱化に資する農業農村整備事業の促進について

- 1 農業農村整備事業の促進について
 - (1) 老朽化対策について
 - (2) 防災・減災・国土強靱化について
 - (3) 農業生産基盤の強化について
- 2 防災重点農業用ため池の防災工事の促進について
- 3 農業集落排水事業の地元負担の軽減について
- 4 FRPM管の漏水事故による第三者被害の防止について
- 5 農業水利施設の強靱化の促進に向けた農地防災事業の制度拡充について
- 6 農地防災事業の効率的な実施に向けた設計基準等の改定について
- 7 中山間地域における土地改良事業の促進について
- 8 農業農村整備事業における費用対効果の分析手法の改善について
- 9 多面的機能支払交付金による地域の共同活動の着実な促進について
- 10 土地改良施設維持管理適正化事業の促進について
- 11 水利施設管理強化事業の促進について
- 12 単独土地改良事業の推進について
- 13 農業用排水機場の適切な維持管理に対する支援について

II 暮らしを支える大規模水利施設の耐震化及び更新整備について

- 1 国営総合農地防災事業 新濃尾地区の推進について
- 2 明治用水頭首工地区 土地改良施設突発事故復旧事業の推進について
- 3 矢作川総合南部地区 土地改良施設突発事故復旧事業の推進について
- 4 国営総合農地防災事業 矢作川総合第二期地区の推進について
- 5 国営土地改良事業 矢作川沿岸地区の早期着工について
- 6 国営施設機能保全事業 尾張西部地区の推進について
- 7 宮田用水施設における地域整備方向検討調査の着実な推進について
- 8 水資源機構営事業の制度拡充について
- 9 水資源機構営 豊川用水二期事業の推進について
- 10 水資源機構営 木曾川用水濃尾第二施設改築事業の推進について
- 11 水資源機構施設の更新整備について

※国会議員・農林水産省には、Iの12、13を除く22項目を要請

農業用排水機県営移管期成同盟会要請活動を実施

11月27日(木)、農業用排水機県営移管期成同盟会日比野郁郎副会長より、県執行部並びに自由民主党愛知県議員団土地改良議員連盟に対し排水機維持管理事業に関する要請を実施した。

その後、農業用排水機県営移管期成同盟会中野治美会長より同内容の要請を大村秀章愛知県知事に対し実施した。



自由民主党愛知県議員団土地改良議員連盟に要請書を手交



下平農林基盤局長に要請書を手交

要請書は次のとおり

排水機維持管理事業に関する要望

排水機維持管理事業の推進につきましては、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

農業用排水機は、農地のみならず住宅地や公共施設用地など地域全体の排水を担っており、その公共性の高さから農業用排水機県営移管期成同盟会は農業用排水機の県管理を要望してまいりました。

これに対し愛知県は「直ちの全面的県営管理は不可能」とし、代替措置として排水機維持管理事業を創設されました。

このことは農業用排水機の公益性を踏まえ、私どもが公的な役割を果たしていくことの結果として、その費用を補助して頂いているところであります。

現在、県営事業で計画的に農業用排水機の長寿命化や更新を行って頂いておりますが、近年、各地で台風や豪雨による災害が発生しており、農業用排水機の管理者の責任はますます増大していることから、より高度な点検・整備と運転体制を確保する必要があると実感しております。

しかしながら、排水機維持管理事業の県補助額につきましては、本来の交付対象額が充足されていない状況が続いています。

この状況が更に続けば、排水機の適正な維持管理が困難になり、ひいては地域の防災機能の脆弱化を招き、地域住民の生命と財産を守ることが極めて困難になると懸念しております。

つきましては、こうした維持管理の現場における厳しい実情をおくみ取りいただき、排水機維持管理事業の予算確保に特段のお取り計らいをよろしくお願い申し上げます。

第47回 全国土地改良大会 佐賀大会

水を利用して土を活かす さがで語ろう郷里の未来

第47回全国土地改良大会佐賀大会が、10月15日(水)、「SAGAアリーナ」(佐賀県佐賀市)において、全国水土里ネット・水土里ネットさがの主催により、「水を利用して土を活かす さがで語ろう郷里の未来」を大会テーマに全国各地から農業農村整備事業に携わる関係者約4,500名が一堂に会し、新たな農業・農村の展開方向に即して、農業農村整備の重要性と、それを下支えする「水土里ネット」の役割を再認識し、関係者各位の意識の高揚と、我が国の農業・農村の更なる発展を目的として開催された。

式典では、田島健一水土里ネットさが会長の挨拶を始め、二階俊博全国水土里ネット会長による主催者挨拶、開催県である山口祥義佐賀県知事を始め坂井英隆佐賀市長から歓迎のこたばをいただき、笹川博義農林水産副大臣、宮原真一佐賀県議会議長、全国水土里ネット会長会議顧問の進藤金日子参議院議員からそれぞれ来賓挨拶が述べられた。

その後、土地改理事業功績者表彰式が行われ、農林水産大臣表彰6名、農林水産省農村振興局長表彰16名、全国土地改理事業団体連合会長表彰44名の受賞者に表彰状と記念品が授与された。受賞者は一人ずつ名前を呼びあげられるとその場で起立し、スクリーンに映し出された。本県からは、全国土地改理事業団体連合会長表彰に、じんちよう神長健一常滑土地改良区理事長(本会理事)が表彰の栄に浴された。

式典の後半には、せいやま青山農村振興局長次長による基調講演後、白山土地改良区職員による優良事例紹介があった。

宮崎憲治鹿島市土地改良区理事長、中原忍佐賀東部土地改良区管理課長、水土里ネットさが土井楓さんによる力強い大会宣言がなされた後、次期開催県の奈良県に大会旗が引き継がれ、大会は盛会のうちに幕を閉じた。

16日(木)は事業視察研修会が行われ、本会は佐賀県杵藤農林事務所が管理する下瀉排水機場(杵島郡大町町福母)を視察した。この施設は、令和元年及び令和3年の豪雨で、地域の排水を担う下瀉排水機場が浸水しポンプが停止したことにより、甚大な被害が発生したため、令和6年度に耐水化対策を行うとともに近年の降水量の増加に対応できるようにポンプの増設を行い浸水被害の軽減が図られている施設である。



全国土地改理事業団体連合会長表彰を受賞された
神長常滑土地改良区理事長



下瀉排水機場にて現地視察



集合写真

令和7年度 東海ブロック水土里ネット女性理事等意見交換会

9月25日(木)、大垣フォーラムホテル(岐阜県大垣市)において東海ブロック水土里ネット女性理事等意見交換会が開催された。東海ブロック(岐阜・愛知・三重)の女性理事や女性の会会員が一堂に会し、事務局を合わせて155名の参加者により盛大に行われた。

はじめに、開催県である藤原勉水土里ネットぎふ会長、そして波能寿子ぎふ水土里ネット女性の会会長がご挨拶された。

続いて行われた基調講演では、進藤金日子全国水土里ネット会長会議顧問が「最近の情勢について」をテーマに、親泊安次全国水土里ネット土地改良研究所所長が「土地改良概論等について」をテーマに、それぞれ講演された。

その後、20テーブルに分かれて「米農家の現状と今後の展開について」「理事になって思うこと」「農業水利施設の保全管理について」「地域農業に及ぼす土地改良区の維持管理について」「今後の土地改良区としての在り方について」「将来を見据えた農業水利施設等の保全管理について」の6つのテーマについて意見交換会を実施した。各県の女性理事や会員からは、現場ならではの視点や熱意あふれる意見が活発に交わされ、有意義な時間となった。

最後に、進藤優貴子夫人、そして次期開催県である末松則子水土里ネットみえ会長がご挨拶され、盛会のうちに幕を閉じた。



波能会長による挨拶



進藤会長会議顧問による講演



親泊所長による講演



グループワークの様子



意見交換会の風景

令和7年度 農地・水・環境のつどい

11月3日(月・祝)、へきしんギャラクシープラザ(安城文化センター)において、「農地・水・環境のつどい」を愛知県と水土里ネット愛知の共催で開催した。この催しは、愛知県内の地域共同活動における農用地・水路・農道等、地域資源の保全管理と質的向上を図る取り組みの一層の普及、県民の理解促進、活動組織の意識向上を図るため、他の模範となる優れた活動に取り組む活動組織を表彰することを目的に毎年開催している。

第1部の優良活動表彰会では、大村秀章愛知県知事による主催者挨拶の後、2組織へ愛知県知事賞が、3組織へ愛知県土地改良事業団体連合会長賞が授与された。その後、川嶋太郎愛知県議会議長による来賓祝辞が述べられ、進藤金日子参議院議員によるビデオメッセージ披露、愛知県知事賞を受賞した2組織の活動が活動組織より紹介され、中野治美会長の挨拶をもって第1部が終了した。

第2部では株式会社大塚工業大塚将秀氏による「水路補修について～メジモル・メジカラ工法～」および太陽建機レンタル株式会社正田勇志氏と株式会社筑水キャニコム藤本真啓氏による「刈払機などの安全使用について～ラジコン式ハンマーナイフほか～」と題して研修会を行い、盛会のうちに幕を閉じた。

部門	愛知県知事賞	愛知県土地改良事業団体連合会長賞
農地・施設保全活動	片山地域環境保全隊(新城市)	勅使水系環境保全の会(豊明市)
農村環境保全活動	奥池地域保全隊(大府市)	木曾川地区資源保全会(一宮市) 吉良町広域協定運営委員会(西尾市)



大村愛知県知事による主催者挨拶



優良活動表彰会での知事賞授与



優良活動表彰会での県土連会長賞授与

令和7年度 土地改良区運営基盤強化推進研修(会計研修)

8月20日(水)、全国水土里ネット主催による令和7年度土地改良区運営基盤強化推進研修(会計研修)を、愛知県土地改良会館7階大会議室で開催した。

令和4年度から土地改良区に対し複式簿記会計が本格導入され、複式簿記会計の更なる理解を深めるため土地改良区職員を対象とした本研修会は、財務諸表のチェックポイントや経営診断についての内容となっており、合わせて67名が出席した。

なお、研修内容は次のとおり。

研修内容	講 師 (敬称略)
土地改良区の会計経理について	全国水土里ネット 支援部 主事 勝海 匠
土地改良区の業務及び運営について 経営診断(収支分析、施設更新積立)について	全国水土里ネット 支援部長 飯田 博隆



勝海全国水土里ネット主事による講義



飯田全国水土里ネット支援部長による講義

換地関係異議紛争処理実務研修会

10月7日(火)、全国水土里ネット主催による換地関係異議紛争処理実務研修会が、水土里ネットぎふで開催され、農林水産省、東海農政局、岐阜県、三重県、愛知県、水土里ネットぎふ、水土里ネットみえ、水土里ネット愛知、全国水土里ネットから28名が出席した。以下の協議事項について説明がなされた後、活発な意見交換が行われた。



協議事項	説明者 (敬称略)
換地を取り巻く状況について	農林水産省 農村振興局整備部土地改良企画課 換地係 太田 岳志
換地関係異議紛争処理事例発表 事業区域内の土地(共有)の相続人の一部の相続登記の同意が得られず、地区外として処理せざるを得なくなった事例	三重県 農林水産部農地調整課 用地班 主幹兼係長 杉原 正起
換地業務に関する意見交換	水土里ネットぎふ 業務部換地指導課 換地専門監 森 正興
中央換地センター報告 換地関係異議紛争処理実務研修会アンケート集計結果図化について(東海ブロック) 他	全国水土里ネット 中央換地センター 主 査 平木 琢

令和7年度 土地改良区機能強化支援事業 技術実践向上研修

10月23日(木)、令和7年度土地改良区機能強化支援事業 技術実践向上研修を開催し、55名が参加した。

本研修は、農業農村整備事業の円滑な実施を図るため、市町村及び水土里ネット役職員の技術力向上を図るべく、土地改良区機能強化支援事業の一環として実施している。

講師として、東海農政局、愛知県の方々をお招きし、それぞれの内容で具体的な講義が行われた。

研修カリキュラムは以下のとおり。

研修内容	講師(敬称略)
ため池への太陽光発電施設の設置について	愛知県 農地計画課 水野 久敬、廣瀬 英里、内藤 美菜子
農業農村整備事業を取り巻く最新の動向と施策	東海農政局 農村振興部設計課 事業調整室長 加藤 裕二 東海農政局 土地改良管理課 課長補佐 浦井 信雄
会計検査の動向と工事監督員の基礎知識	東海農政局 農村振興部設計課 工事検査官 谷本 昌人
明治用水頭首工復旧工事の実施状況と今後の予定について	東海農政局 農村振興部防災課 課長補佐 富川 修



中根専務理事による開講挨拶



東海農政局 加藤事業調整室長による講義



東海農政局 浦井課長補佐による講義



東海農政局 富川課長補佐による講義

水土里ネット事業視察研修会

10月30日(木)、31日(金)、農業農村整備事業の推進を図るため、61名参加のもと、事業視察研修会を開催した。

1日目の視察は、兵庫県三木市の東播用水土地改良区において土地改良区の運営及び概要について大橋正宜専門員より説明を受けた後、御坂サイフォン橋を見学しながら説明を受けた。

2日目には、兵庫県丹波篠山市にある近畿農政局川代ダム管理所を訪れ、施設の概要とダム管理のためのシステム等について三島隆史所長と崎山佳孝保全整備専門官から説明を受けた。その後、丹波篠山市民センターにおいて18の土地改良区と水系協議会の運営事務全般を事務局4名でこなしている丹波篠山土地改良協議会の運営及び概要について、栗野祐子事務局長より話を伺った。活発な質疑応答があり、非常に充実した内容となり有意義な2日間となった。



大橋専門員による説明



御坂サイフォン水路橋での記念撮影



川代ダム三島所長による説明



栗野事務局長による説明

農業用排水機具営移管期成同盟会事業視察研修会

11月20日(木)、21日(金)、本会内に事務局を置く農業用排水機具営移管期成同盟会の事業視察研修会を、ヤンマー株式会社 尼崎工場(兵庫県尼崎市)、大和高原北部土地改良区が管理する上津ダム(奈良県山辺郡山添村)にて実施した。研修会には同盟会役員・会員45名が参加した。

研修1日目は、ヤンマー株式会社 尼崎工場において、会社概要・製品説明を伺った後、同社職員の案内・説明により工場見学を行った。

また、2日目は、上津ダム管理事務所において、西畑恵業事務局長より、土地改良区の概要・事業等の説明を伺い、その後、上津ダム揚水機場、小水力発電施設内で説明を受けながら視察を行った。

研修会は2日間を通して非常に充実した内容となり、各地域における今後の農業用排水機の維持管理や組織の運営について学習する良い機会となった。



ヤンマー(株)尼崎工場内会議室において会社概要・製品説明



上津ダム管理事務所による説明

土地改良施設維持管理適正化事業加入団体研修会 開催

12月19日(金)、土地改良施設維持管理適正化事業加入団体研修会を立梅用土地改良区(三重県多気郡多気町)において開催した。

この研修会は、土地改良施設の適切な維持管理と適正化事業の円滑な推進を図ることを目的に毎年実施しているもので、市町村・水土里ネットの職員37名が参加した。



改良区にて説明



立梅用水土地改良区

排水機管理担当者現地視察研修会 開催

12月12日(金)、排水機管理担当者現地視察研修会を独立行政法人 水資源機構 愛知用水総合管理所が管理する東郷調整池(愛知県東郷町)と国土交通省 中部地方整備局 木曾川上流河川事務所が管理する新水門川排水機場(岐阜県大垣市)において開催した。

この研修会は、排水機管理担当者の管理技術の向上及び管理意識の高揚を図るために開催したもので、市町村・水土里ネット等の役職員や運転管理者43名が参加した。



愛知用水総合管理所にて説明



新水門川排水機場にて現地視察

水土里情報システム利活用操作研修会

12月15日(月)~17日(水)、19日(金)において、水土里情報システム利活用操作研修会を16団体・20名参加のもと以下の内容について開催した。

〈研修内容〉

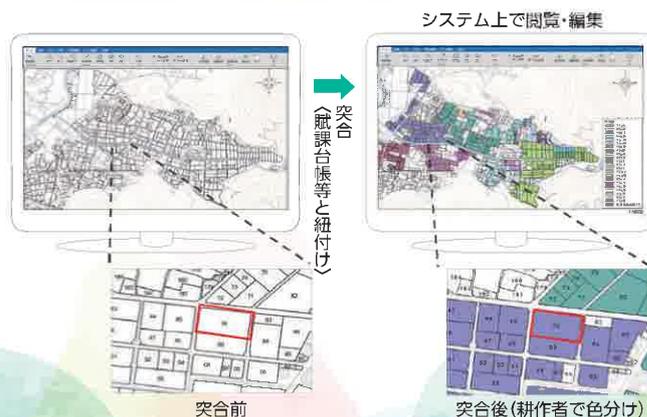
- ①閲覧、印刷等システムの基本的な操作方法について
- ②農地筆・耕区図の活用について

各組織が所有している台帳(賦課台帳、作付け台帳等)と水土里情報システムを連携し、所有者や作付け状況を図化する方法を紹介した。

活用データを投入するためのユーザーレイヤを作成し、そこから出力したCSVデータへの書き込み作業実習を実施した。

また、図形の編集及び印刷ツールによる図郭印刷の実習も行った。

- ③多面的機能支払交付金への活用方法の紹介
- ④水利施設の管理方法、図面PDF等の添付方法の紹介



第24回 あいちの農業・農村フォトコンテスト 入賞作品発表

11月14日(金)、本会主催、愛知県後援の「第24回あいちの農業・農村フォトコンテスト」の審査会を本会7階大会議室にて開催した。県内各地から、今回のテーマ「水土里が息づく景観と共にある土地改良施設」を表現した作品255点(117名)の応募があった。

審査は、審査会規程第2条により実施され、審査員による厳正な審査の結果、水土里フォト大賞1点、優秀賞2点、入選10点、四季賞4点、多面的機能共同活動賞3点の合計20点が選考された。

また、豊かな農地あいち特別賞が1点、愛知県農業土木測量設計技術研究会(協賛)によって選考された。



審査会の様子



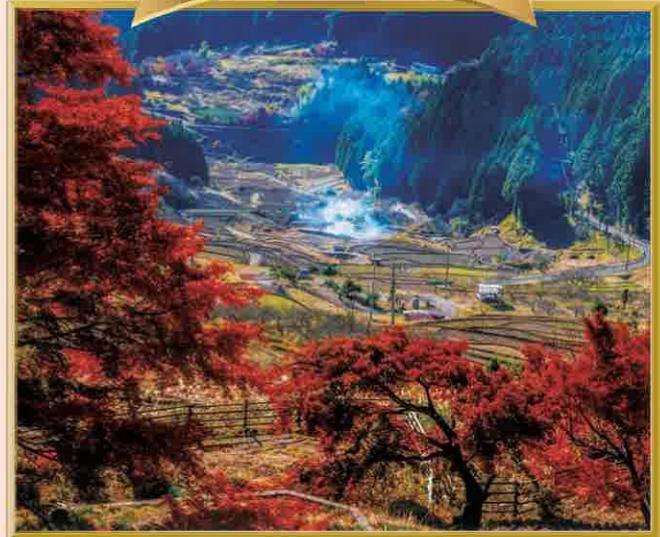
水土里フォト大賞

『虹も出た』(撮影場所:豊橋市)

撮影者:水谷 清

作品は、表紙に掲載してあります。

水土里フォト優秀賞



『晩秋の棚田』 撮影場所:新城市

撮影者:入倉 喜巳男

水土里フォト優秀賞



『薄明のため池』 撮影場所:小牧市

撮影者:日比野 義孝

第24回あいちの農業・農村フォトコンテスト入賞者名簿 (敬称略)

賞	画題	氏名
水土里フォト大賞	虹も出た	水谷 清
水土里フォト優秀賞	晩秋の棚田	入倉喜巳男
	薄明のため池	日比野義孝
豊かな農地あいち特別賞	冬晴れの頭首工	奥野 均
入 選	棚田に生きる	伊東 正喜
	水農里の秋	甲斐 一男
	ブロッコリーの収穫	神谷 正巳
	太陽と水のめぐみ	川端 章夫
	暑いノオ・・・がんばろう!	近藤 啓子
	孤高の灯り	柴田 作藏
	環境美化	下川 清光
	巨大マシュマロ	都築 和雄
	夜の入鹿池	早川 幸夫
	ふきの収穫	藤本 敦雄
水土里フォト四季賞	夏の小呂池	篠田 道子
	池の春	篠田 光雄
	収穫の喜び	高安 正和
多面的機能共同活動賞	次どこの田んぼ・・・?	波能 寿子
	田んぼアート南陽	牛田 義光
	コスモス畑でハイチーズ	谷澤 肱
	初めての地下水路の清掃!	横井 良治

(同賞は氏名50音順)

水土里フォト四季賞



『池の春』 撮影場所:幸田町
撮影者:篠田 光雄

水土里フォト四季賞



『夏の小呂池』 撮影場所:岡崎市
撮影者:篠田 道子

水土里フォト四季賞



『次どこの田んぼ…?』 撮影場所:名古屋市
撮影者:波能 寿子

水土里フォト四季賞



『収穫の喜び』 撮影場所:田原市
撮影者:高安 正和

★入賞・入選作品の展示を以下により実施します。是非お立ち寄りください。

展示場所	展示期間
愛知県庁本庁舎・西庁舎地下連絡通路	令和8年1月19日(月)AM~1月23日(金)PM
海部県民事務所広報コーナー(海部総合庁舎1階)	令和8年1月26日(月)AM~2月 6日(金)AM
愛知県県民相談・情報センター(自治センター1階)	令和8年2月 6日(金)PM~2月20日(金)AM
西三河県民事務所広報コーナー(西三河総合庁舎1階)	令和8年2月20日(金)PM~3月 6日(金)AM
東三河総局広報コーナー(東三河総合庁舎1階)	令和8年3月 6日(金)PM~3月19日(木)PM

「未来へつなごう! ふるさとの水土里」子ども絵画展2025

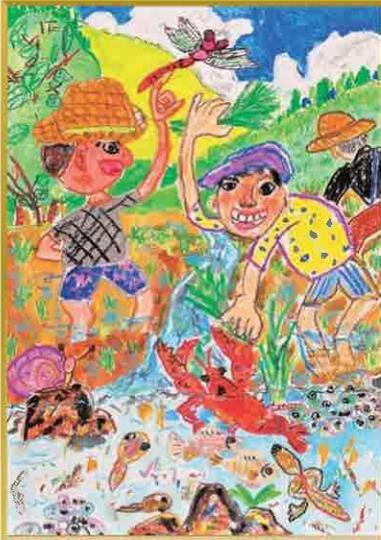
「未来へつなごう! ふるさとの水土里」子ども絵画展2025に、全国から2,625点の応募があった。

今年で26回目を迎えた本絵画展は、子どもたちに田んぼや畑、水、農業・農村や自らの環境などに関心を持ってもらい、この財産を次世代へと引き継いでいくことを目的として、平成12年度から全国水土里ネットと都道府県水土里ネットが主催している。

有識者による厳正な審査の結果、入賞33点、水土里ネット賞56点、入選141点及び佳作170点が決定した。本県からは、入賞9点、水土里ネット賞8点、入選18点、佳作17点が選ばれ、入賞作品は以下のとおり。

大塚ホールディングス賞

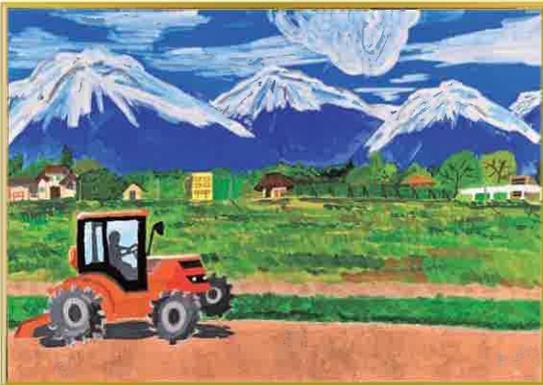
「田植えたのしかったな」



田中 佑奈さん 小2 江南市

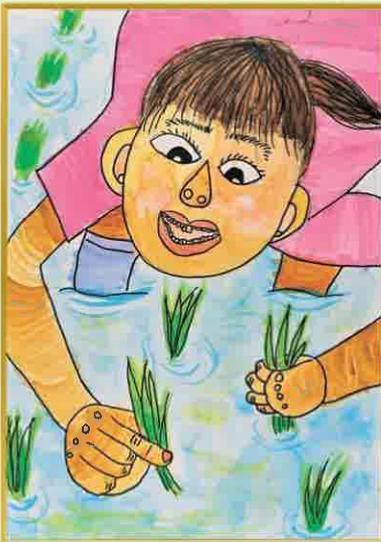
KAJIMA 100年のみどり賞

「残雪のふるさと田園風景」
新海 令奈さん 小6 半田市



内外ふるさと子ども賞

「じいちゃんのおつたご」



清水 絵都さん 小2 安城市

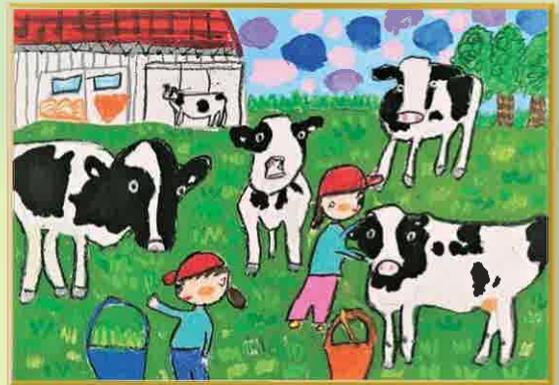
特別賞/ふるさと水と土優秀賞

「あまいにんじんのいっぱいとれたよ」
岩崎 圭浪さん 未就学 武豊町



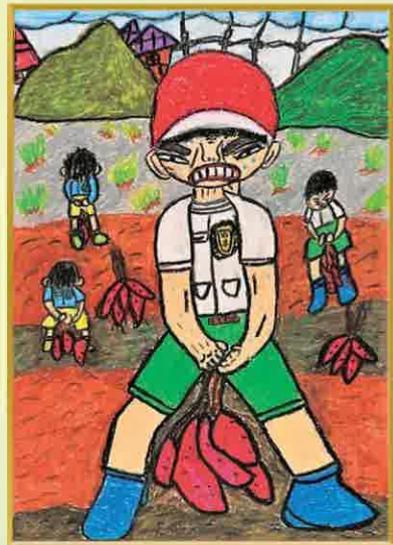
大林「つくるを拓く」賞

「おいしい草をいっぱい食べてね」
石川 葉菜さん 小2 江南市



クマさんのふるさと賞

「どまふもどつたべー」
山本 湊士さん 小3 武豊町



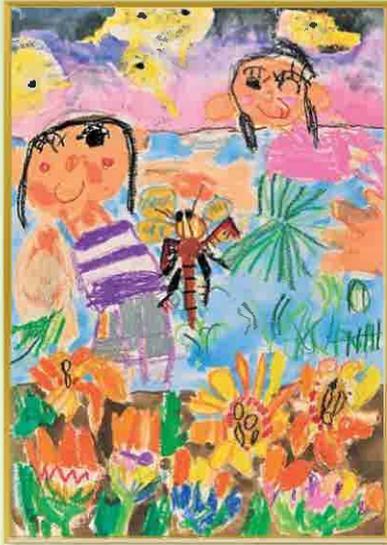
日本振興賞

「いちごがいっぱいになったよ」
岩田 陽彩さん 未就学 豊川市



MAEDAちきゅうとみらい賞

「ひるも夜も田んぼはきれいな」
田中 万尋さん 未就学 江南市



やまびこ賞

「ため池のこみひろい」
南谷 柚依さん 小2 豊田市



水土里ネット賞

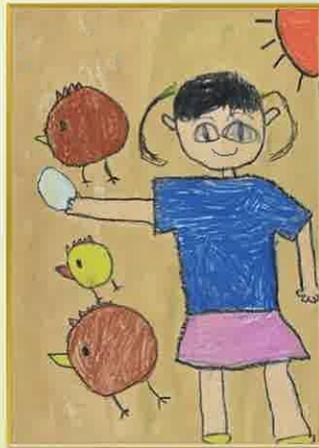
愛知用水土地改良区 理事長賞

「思い出のトウモロコシ畑」
宮崎 利子さん 小5 武豊町



油ヶ湖悪水土地改良区 理事長賞

「いえのコンコン」
清原 すずさん 未就学 安城市



茶屋新田地域資源保全隊賞

「じいじの野菜はおいしいな」
藤原 紗和さん 小1 名古屋市

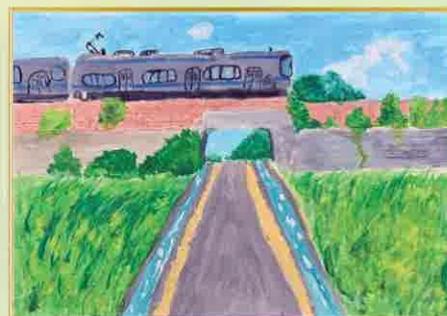


水土里ネット豊川総合用水 理事長賞

「トウモロコシ とったぞー!!!」
菅沼 汰鳳さん 小1 豊橋市



水土里ネット豊田 理事長賞



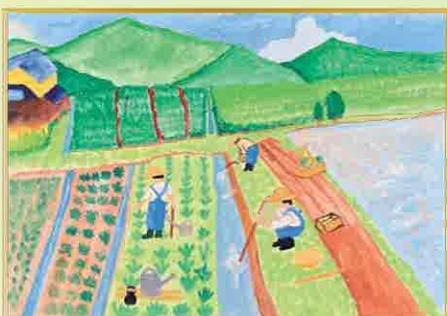
「みどりがいっぱい散歩道」
杉山 湊都さん 小2 豊田市

水土里ネット豊田 副理事長賞



「じじとばば、みんなで稲刈り」
南谷 芽依さん 小4 豊田市

水土里ネット豊田 総務委員長賞



「めぐみがいっぱいの田んぼ」
永田 葵一さん 小3 豊田市

水土里ネット明治用水 理事長賞



「川が大すきないきものたち」
近藤 典誠さん 小2 知立市

※団体応募は、すべての水土里ネットが参画できます。令和8年度に向けてご検討いただければ幸いです。
詳細は、水土里ネット愛知総務課(TEL052-551-3611)まで問い合わせください。

愛knowため池!! 水と緑のクイズラリー ～SKE48とのLOVEあいち・スペシャルコラボ～

9月13日(土)、長久手市茨ヶ廻間乙の愛・地球博記念公園(モリコロパーク)において愛知県主催によるため池のPRイベントが開催され、本会は協賛団体として参加した。

愛知県は2007年に「愛知県ため池保全構想」を策定しており、ため池の整備・利活用の促進、ため池の持つ多面的機能の維持・増進を図ることとしている。今回のイベントを通じて身近にあるため池の存在・歴史・役割や、ため池の多面的機能を発揮するために必要な管理の大切さをアピールするため、長久手市や協賛団体等の協力の元、イベントを開催した。

イベント当日は、多くの来場者が会場に集まる中、長久手市にある愛知県立芸術大学に所縁のある「アンサンブル ヴィオレ」による木管五重奏の演奏で幕を開けた。大村秀章愛知県知事による主催者挨拶の後、来賓として佐藤有美長久手市長が出席し、祝辞を述べられた。その後、大村愛知県知事と佐藤長久手市長、さらにSKE48の石黒友月さんと入内嶋涼さんによる菓子まきやタオルバズーカが披露され、来場者を楽しませた。

セレモニー後は、こいの池の歴史や知識を学びながら池を周遊する愛知県主催のクイズラリーや各協賛団体が企画した関連イベントが終日実施され、本会はため池に生息する生き物の水槽展示を行った。イベントは多くの来場者で終日にぎわい、好評のうちに幕を閉じた。



クイズラリー
の様



菓子まき
の様子



水と里ネット
愛知による
生き物展示

水と里ネット
愛知による
生き物展示



研修会のご案内

研修会名	開催日	対象者
水土里ネット役職員研修会	1月21日	水土里ネット役職員
あいち水土里ネット女性の会研修会	1月29日	水土里ネット役職員等
水土里情報利用団体説明会	3月予定	水土里情報加入団体職員

農業基盤整備資金の金利のご案内

令和7年12月18日現在の株式会社日本政策金融公庫の農業基盤整備資金の貸付金利は次のとおりです。
金利は金融情勢により変動します。

詳しくは名古屋支店(TEL052-582-0741)までお問い合わせください。

区分	融資期間にかかわらず	融資期間別(一例)			
		5年	10年	15年	20年
補助事業 県営	2.35%	—	—	—	—
団体営	2.20%	—	—	—	—
非補助事業 一般	2.20%	—	—	—	—
災害復旧	—	1.35%	1.65%	2.05%	2.20%

迎春

令和八年 元旦
 本年もよろしくお願いたします



みどりくん

さなえちゃん

会長	中野治美	愛知県議会議事長
副会長	三浦孝司	豊田土地改良区理事長
専務理事	中根俊樹	学識経験者
理事	太田考則	名古屋市長
〃	穂積英一	木津用水土地改良区理事長
〃	中野正康	一宮市長
〃	竹田和弘	平和土地改良区理事長
〃	浜田一徳	孫宝排水土地改良区理事長
〃	神長健一	常滑土地改良区理事長
〃	竹内啓二	愛知用水土地改良区理事長
〃	石川克則	明治用水土地改良区理事長
〃	川澄安成	占部用水土地改良区理事長
〃	浅井喜代治	西尾土地改良区理事長 矢作川沿岸土地改良区連合理事長
〃	中村健	西尾市長
〃	林文夫	愛知県議会議事長 みよし土地改良区理事長
〃	土屋浩	設楽町長
〃	山口重徳	豊川市土地改良区理事長
〃	功刀由紀子	学識経験者
〃	鬼頭弘子	〃
代表監事	近藤正俊	油ヶ渕悪水土地改良区理事長
監事	平野孝	十四山土地改良区理事長
〃	大和義弘	田原市土地改良区理事長

事務総務課	局長	佐藤	藤井	広貴	尚志	ため池	サポ	トセ	センター	室長	井伊	上東	敬邦	將泰
業務課	課長	酒塚	本世	成達	志晃	施設	管理	支会	事務	長	水加	野藤	邦充	浩宏
企画課	課長	三西	野谷	純永	晃功	名古屋	支会	支会	事務	長	大早	塚川	充晃	淳生
整備課	課長	大宮	崎浦	一輝	一郎	一海	支会	支会	事務	長	長保	坂坂	亮哲	紀貢
地域課	課長	松中	根野	伸浩	平道	半岡	支会	支会	事務	長	磯山	谷田	亮哲	輔也
整備地	課長	平	野	浩	幸	幡豊	支会	支会	事務	長	山	田	亮哲	也

ほか職員一同

